



# 地産地消のすすめ

## —あなたの消費が未来を変える—

### ◆地産地消で地球温暖化防止

地産地消とは「地域生産地域消費」の略です。地産地消を行うと、生産地から食卓までの距離が短い食べ物を食べることになるため、輸送に伴って発生する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの排出量を減らすことができます。

日本は特に食料自給率が40%以下と低く、食べ物の多くを外国に依存しています。地産地消が進めば、食料自給率が上げられるだけでなく、地球温暖化防止対策を進めることにもなるのです。

※地球温暖化防止対策としての地産地消についての詳細は、広報なか平成27年4月号または平成29年12月号掲載の「わがまちの環境を考える」をご覧ください



### ◆地産地消「いろいろなメリット」

地元で生産されたものを地元で購入し消費する。「那珂市産を、那珂市内で買い、消費する」ということです。

地産地消の良い点は、まず、新鮮な食材や旬の食材を手に入れること、そして、生産者の顔が見えるため食の安全を保つことができます。

ほかにも、さまざまなメリットがあります。

那珂市の農産物に付加価値が付き、「6次産業化（生産(1次産業)×加工(2次産業)×販売(3次産業)）」が進むことで、生産者の収入がアップし、生産者が増えることでしょう。

そして、耕作放棄地の再生利用、農地の集約、新たな地場農産物の栽培が進み、さらに流通（農産物の取引先の輪）の形成がなされ、地元さまざまな「しごと」ができます。

こうした地元産業の活性化により、那珂市の知名度は高まり、「ひと」の移住定住の促進につながり、現在問題となっている今後の人口減少に歯止めをかけ、持続可能な「まち」となります。

それでは、地産地消に取り組むにはどうしたら良いのでしょうか？



## ◆「特産品ブランド認証品」

市では、産業の振興と元気で魅力あるまちづくりのため、那珂市らしい商品のブランド化を推進しており、平成25年度から「特産品ブランド認証品」に関する事業に取り組み、平成27年度までの3年間で30の特産品ブランドを認証しました。

それらは、市内で生産された農畜産物や醸造品、また市内で加工されたものです。

詳細は、市ホームページ内にある「特産品ブランドページ」をご覧ください。



○特産品ブランドについて

<http://www.city.naka.lg.jp/page/page001718.html>

## ◆「直売所」と「ふるさと納税」

市内には、5か所の産地直売所や、果実栽培園があり、地元の新鮮な野菜、果物や畜産物、加工品などが販売されています。また、地場農産物を用いた食品を製造販売する店舗もあります。

また、市では、那珂市ふるさとづくり寄付「ふるさとの便り」事業を進めています。返礼品には市の特産品が含まれていますので、寄付によって地元の生産者を支援することになるのです。

生産を直接的、間接的に支援できれば、生産者や店舗の収入が増え、ひいては税収の増加につながります。

ふるさと納税の詳細は、ふるさと納税サイト『ふるぽ』をご覧ください。



○ふるさと納税サイト『ふるぽ』

<http://furu-po.com/naka/>

## ◆那珂市に誇りと愛着を

地産地消は「外へ流出していたお金が、地元の生産者や直売所などの収入に代わる」こととなります。すなわち、市の収入を増やすことにより、行政サービスの向上という形で市民に還元されることになるのです。

現在、少子高齢化人口減少社会に対応し、持続可能な社会を築くために、失われつつある「那珂市らしさ」をまず取り戻す必要があります。

那珂市の環境を構成する伝統文化や歴史、自然を見直し、それらとのつながりを意識し、誇りと愛着を持つことがその出発点であり、地域の未来は、そのプロセスを経て見えてきます。

以上のように、地産地消は、地球温暖化防止対策としてだけでなく、今後のまちづくりにとっても重要な取り組みなのです。